

令和6年9月号 No.155
(2024年)

みんなで支えあう 心ふれあう やすらぎのまち



社協かしわら

編集発行 社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会 〒582-0018 柏原市大県4-15-35 健康福祉センター内

TEL 072-972-6786

FAX 072-970-3200

ホームページ

<https://kashiwara-shakyo.jp/>

メールアドレス

soumu@kashiwara-shakyo.jp



「ほのぼのちゃん」



こちらどうぞ

社会福祉法人格取得50周年記念

柏原市社会福祉大会

「未来(あした)を描こう！心ふれあう未来のために」

日時 令和6年12月7日(土) 13時00分～15時00分

会場 柏原市民文化会館 大ホール(リビエールホール2階)

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

※災害・感染症の流行などの状況により中止する場合がございます。

第1部 式典

第2部 記念講演

演題 いきいきエイジング

つながりづくり・いきがづくり・健康づくり

講師 武庫川女子大学 心理・社会福祉学部

教授 まつのはな かつふみ
松端 克文 氏



柏原市社会福祉協議会は、市民並びに関係機関・団体の皆さまのご支援を受けながら、お陰様をもちまして、今年50周年を迎えます。節目の年を記念して社会福祉大会を開催します。当日は恒例の「柏原ふれあい広場」も同時開催します。参加費無料、申込不要ですので、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

令和6年12月7日(土)開催!!
社会福祉法人格取得50周年記念
柏原市社会福祉大会

社会福祉法人格取得40周年記念で誕生したイメージキャラクター「ほのぼのちゃん」が10歳のお誕生日を迎えました！



イメージキャラクター
「ほのぼのちゃん」



柏原ふれあい広場

～皆でつくるう人にやさしいまち～



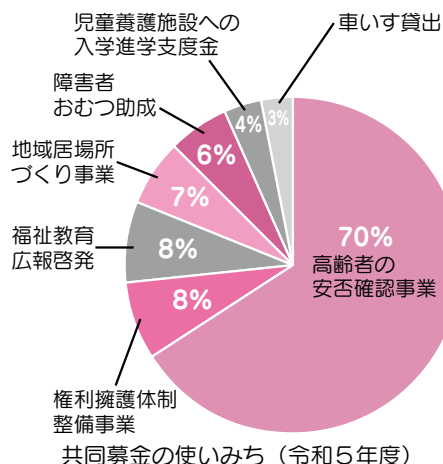
日時 令和6年12月7日(土) 10時00分～15時30分

会場 柏原市民文化会館(リビエールホール)

- ◆小ホール…舞台発表(10時00分～12時00分)
- ◆1階ロビー…物品販売(10時00分～15時30分)
- ◆地下ホワイエ…展示ブース(10時00分～13時00分)

社会福祉大会及び
柏原ふれあい広場の
詳細は、ホームページにて
随時更新していきます！





赤い羽根共同募金運動は、毎年10月1日から全国で一斉に実施されています。

柏原市では、区長会や柏原市民生・児童委員協議会、柏原市ボランティア連絡会など多くの団体や、市内の小中学校、住民の皆様のご協力とご支援を頂き、集まった寄付金が柏原市内の様々な福祉活動等に役立てられています。

じぶんの町を良くするしくみ。
「赤い羽根共同募金運動」が始まります



スマホでの募金は
こちらから！



募金方法は、街頭募金や施設に設置してある募金箱のほか、インターネットでも募金ができます。

今年も赤い羽根共同募金へのご協力をよろしくお願いいたします。



街頭募金にはほのぼのちゃんも参加！

共同募金協力型自動販売機を置いてみませんか？

募金運動推進のため、「共同募金協力型自動販売機」の設置促進に努めています。

設置にご協力いただいた法人・個人・飲料メーカーから売上の一部をご寄付していただくものです。

柏原市には現在2か所設置しております。

竜田古道の里山公園 (NPO法人ナック)	ダイドードリンコ(株)
柏原市社会福祉協議会 (ほのぼのかたしも)	ダイドードリンコ(株)

社会貢献活動の一環として、共同募金協力型自動販売機の設置にご協力をお願いいたします。

詳しくこちら→ http://www.akaihane-osaka.or.jp/bokin/new/index_jihanki.htm



重層的支援体制整備事業が始まりました！

令和6年4月1日より、「重層的支援体制整備事業」を当法人が受託し、運用を開始しました。

この事業は、市内に設置されている福祉の相談窓口の連携を強化し、複合的な課題を抱えている世帯や個人の方に、継続して支援を行えるように体制を整えるためのものです。法人内や柏原市役所各部署との連携強化はもちろんのこと、さまざまな生きづらさを抱える人や世帯が

孤立せず、住み慣れた地域での生活を送ることができるよう地域づくりも進めていきます。

事業を進めるためには地域の皆様のご協力が重要です。ご近所に気になる方がいらっしゃれば、ご相談ください。

【問合せ】 072-067806

相談日時：平日 8時45分～17時15分
(地域福祉係)

メール：soudan@kashiwara-shakyo.jp

CLOSE UP!

社協職員

松本 峰子 (まつもと みねこ)

当法人で活躍している職員や担当業務について紹介します。



柏原市障害者基幹
相談支援センター所属
松本 峰子

社協に入った
きっかけは？



友人と社協のイベントに参加した際に「地域福祉」に興味を持ったことがきっかけです。

入職後は高齢者デイサービスで働き、その後、障害福祉サービス「わくわく」で支援員として勤務しました。

今はどんな業務を
しているの？



柏原市障害者基幹相談支援センター（ピアセンターかしわら）で、障がいをお持ちの方から相談を受けたり、相談支援専門員として福祉サービスの調整を行ったりしています。



自問自答を繰り返しながら支援していく中で、時間はいかってもかかっても「自立」に向かって少しずつでも前向きになり、チームで達成することができたときに大きなやりがいを感じます。

他にも、イベントを開催したときに参加者から「楽しかった」とお声をいただくことがとても嬉しく感じたので、これからも皆さんが楽しめるイベントができたらいなと考えています。

石川県能登半島地震 災害ボランティアに参加しました

石川県七尾市災害ボランティアセンターの
運営支援（4月17日～23日）

災害ボランティアセンターでは、被災した地域や住民が1日でも早く元の生活に戻ることができるよう、ボランティア活動をしたい人とボランティアを必要とする人や団体、施設とのコーディネートを行っています。

災害ボランティアセンターの運営自体が裏方の役割であり、私は現地で被災された方のニーズの聞き取りや、災害ボランティア活動の受付、ボランティア活動で使用する資材の管理を行いました。この経験により、被災者の支援に携わるボランティアの方々のありがたさを実感しました。（宮本）

大阪府社会福祉協議会
河南ブロックボランティアワゴン（6月21日）

主なニーズは各家庭で使用不能になった家財道具等の搬出、運搬、仕分け作業で、ボランティアと一緒に依頼のあった家をまわり、家財道具を搬出する作業をお手伝いしました。

一般参加のボランティアも多く、近隣府県の方も参加されている印象でした。

能登半島の町並みを見ると、復興にはまだまだ時間がかかりそうですが、近隣住民をはじめボランティアの方々や社協のネットワークの協力が今も続いています。一日も早い復興を願っています。（中島）



